

2011年度

## レポート課題

科目名	経済予測論B	担当教員	嶋中 雄二
課題	<p>以下、3つの課題の中から1つを選び、3,000字程度で述べよ（図表は字数に含まない）。</p> <p>1. 内閣府経済社会総合研究所は、2011年10月19日、景気動向指数研究会を開き、それまで暫定的に設定していた、戦後第14循環の景気基準日付に関して、景気の山を2008年2月に、また景気の谷を2009年3月に確定することとした。これらの日付確定の根拠について論ぜよ。</p> <p>2. 2つの対立する景気循環学説である、「過少消費説」と「過剰投資説」について、それぞれの考え方を説明し、違いを比較せよ。</p> <p>3. 2011年11月19日に開催された「景気循環学会」の大会を聴講して、興味を抱いた発表（中原奨励賞受賞記念講演、基調報告、報告、パネル・ディスカッション）を任意に1つ選び、その内容を要約した上で感想を述べよ。</p>		
字数	3,000字程度。		
提出方法	担当教員に直接提出のこと。		
提出締切	2012年1月30日の補講時。		